

1 基本構想策定の背景と目的

未来を担う人を育てる戦略

上位計画  
第9次厚木市総合計画「あつぎ元気プラン」  
第二期基本計画 平成27年3月

子どもが健やかに成長できる  
教育環境の充実

上位計画  
「あつぎこども未来プラン（第2期）」平成27年3月

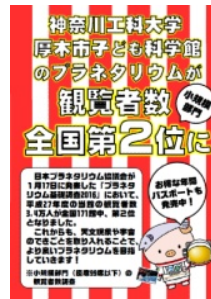
2 子どもや科学をめぐる社会環境

- 1 激変する社会環境と一人一人の主体的な学びの重要性
- 2 「生きる力」を育む取組の推進
- 3 理科に関する興味関心、思考力・判断力の育成に課題
- 4 日常生活とのつながりで科学を捉え、未来を創造する力を育む取組の必要性

3 厚木市子ども科学館の現状

主な事業

プラネタリウム	一般投影、幼児投影、 特別投影等
展示ホール	常設展示、 夏休み手づくり展示等
子ども科学館まつり	子ども科学館のイベント
科学教育支援	科学教育活動を支援する ため講師の派遣



日本プラネタリウム協議会  
「プラネタリウム基礎調査2016」  
の座席99席以下の小規模部門

講座の実施	サイエンスショー、 土曜科学教室、工作教室
情報提供	メールマガジン（子ども科学館 ニュース）による情報発信等

4 今後の予定

平成29年度

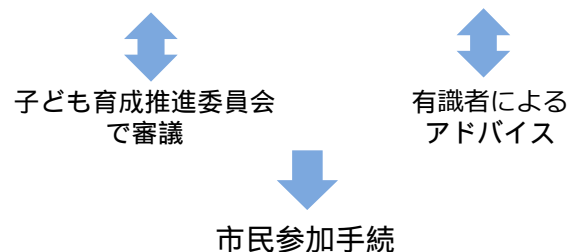
(仮称) こども未来館基本構想(案)



(仮称) こども未来館基本構想の策定

平成30年度以降

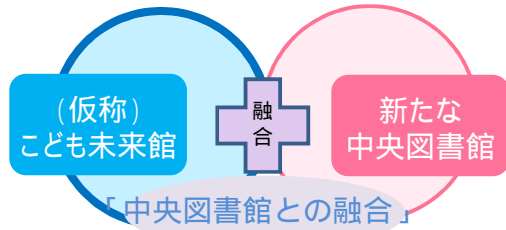
(仮称) こども未来館基本計画(案)



(仮称) こども未来館基本計画の策定

5 (仮称) ども未来館が担うべき役割

地域全体として  
子どもたちの未来を育んでいく拠点



6 ども未来館整備における3つの視点



7 (仮称) ども未来館の基本理念

子どもたちの未来へのチカラを  
みんなで育て伸ばしていく  
コミュニティプレイスの創造

市民や団体、企業が集まり、日常的な「普段着の交流と協働」を通じて、厚木の魅力に気づき、ともに地域の未来を担う子どもたちを育てていく、未来志向のコミュニティ空間としての新たな在り方を追求していきます。

8 事業活動の方向性

想像力を育て、創造力を身に付ける楽しい学びの場

ども未来館は、未来を担う子どもを育てるため、子どもたちの好奇心を刺激し、探究心・想像力を育て、創造力を身に付けることができる、厚木市の魅力をいかした施設を目指します。さらに、地域の大人たちが、子どもたちの成長に参加できる環境を整備し、誰もが気軽に過ごせるような場とすることにより、にぎわいの創出・発展につなげていきます。その実現に向けて「活動づくり」「魅力づくり」「環境づくり」の3つの視点から、事業及び施設の具体的な在り方について検討し、求められる機能を抽出します。

**活動づくり**  
子どもたちの自発的な学びと好奇心を育んでいく体験メニューを提供

**体験** 遊びや体験を入口に子どもたちが“ドキドキ・ワクワク”に出会う

座学にとられない学びを提供し、日常に潜む不思議を発見していく参加体験性の高い施設として展開。様々な体験（参加性の高い展示装置や参加体験講座の開催）を通して、好奇心を刺激し、探究心・想像力を育み、ドキドキワクワクに出会いながら、厚木市の未来を担う子どもたちの成長に寄与することを旨とします。

- 体を動かす: 体を動かしながら学び、体験として記憶する
- 探す: 不思議と感じたことの原因を自分の方で探してみる
- 実験する: 実験やものづくりを通して学びにつなげる
- 体感する: 五感を使った体験で体で記憶する
- 遊ぶ: 遊んでいるうちに学びを得られる

**魅力づくり**  
自然や地域力、産学官とのネットワークをいかし、市内企業・大学との連携による厚木ならではの展示及びプログラムを展開

**コンテンツ** 身の回りの学びをより“身近に”感じる厚木独自のテーマ設定

体の中の世界から身の周りにある科学、宇宙という遠くの世界まで、自分を取り囲む世界を自分との距離の遠さでテーマ別に分類して紹介する。近いものはより身近に、遠いものも身近に感じ好奇心を持って学べるように、テーマ設定を工夫して学びを提供します。

**環境づくり**  
多様な人々が気軽に過ごせ、日常利用できる公園のような魅力を持った施設

**知との融合** 複合施設の特性をいかした“日本初”の新しい学びを創出する

公園のように誰でも立ち寄り、気軽に過ごせる空間として、ども未来館と中央図書館を融合させることにより、遊びと体験と学びが詰まったこれまでにない新しい施設の展開を目指します。融合においては、スペースを一体的に使うこと、事業連携の二つの面からの展開を検討します。

**体験×本の世界**  
厚木の身近なテーマを展示化した「体験」と知識への身近な入り口である「本」の融合により、新しい学びにつなげる。

学び

魅力

ドキドキ

身近

融合

ワクワク

なに？

なぜ？

なるほど！

# あつぎ フューチャーワンダーパーク

人々が毎日気軽にふらっと集まり、厚木の身近な不思議がいっぱい詰まった「あつぎフューチャーワンダーパーク」で、好奇心を全開にして遊びながら、「なに？なぜ？なるほど！“という” ワンダー（驚き）“に出会い、気付きや学びを引き出す遊びと体験がいっぱいの自由なフィールドを施設のイメージとします。

ワンダー  
驚き！

魅力

## フィールドプレイ展示

自然 そら 宙 街

厚木の日常風景（自然・街・家庭等）に潜む不思議をテーマとした遊びと体験のゾーン。遊び・体験を通じて子どもたちの好奇心を喚起し、発見と学びにつなぐことができます。子どもたちが安心して自由に過ごせる新しい居場所としての機能も持たせます。



### プラネタリウム

天文学に関する投影だけでなく、地学や生物学、厚木の街に関する科学など、幅広い分野の投影を行います。

### ワンダーアスレチック

大山や相模川、街、住まいなど、厚木の環境資源や名物などをモチーフとしたアスレチック。

## くらしエクスペリエンス展示

科学 家庭 日常

日常の身の回りの最先端科学・技術や原理を探検し、発見していく参加体験型展示。身近な問いかけをきっかけとして、その秘密を解き明かしていきます。



### ハンズオン展示 1・テーマ展示

厚木の特徴であるロボット産業のほか、通信技術、自動車技術、スポーツ科学など地域の企業・大学にちなんだ展示スペースです。

### エクスペリエンスラボ 2、3

サイエンスショーのほか、工作キットやワークショップキットを使って、科学を実験を通して体感できる活動を行います。

### 特別展示（企画展示）

年間を通してテーマを変えながら企画展を開催します。

1 ハンズオン...体験学習、参加体験

2 エクスペリエンス...経験、体験

3 ラボ...実験室、研究所

## ワンダーライブラリー

知 発見 実り

展示の周辺で、展示やサイエンスショーのテーマに合わせた関連書籍を紹介する書棚をワンダーパークゾーン帯に配置。展示に興味を持った内容について、もっとくわしく知りたい場合に利用する。

### ワンダーブックシェルフ 4

展示やサイエンスショーの内容とその関連図書を併せて紹介できる書棚。遊具としても利用できる複合体験展示装置として位置付けます。

### 読書スペース

じっくり読書ができるスペース。展示やサイエンスショーに関連する書籍を取りそろえた書棚も設置し、展示で気になった事柄について確認できるように、展示の周囲に展開します。



4 ブックシェルフ...本棚



気づき！

ワクワク

知る！

発見！

ドキドキ

知

市民の学び、成長、楽しみに  
役立つ情報拠点

実り

発見

豊かさ

出会い

歴史

中央図書館

ネクスト・ライブラリー

中央図書館については、厚木市図書館基本構想から抜粋